

2022(令和4)年度 第2回 人権のために学ぶ同和教育講座

「同和問題」

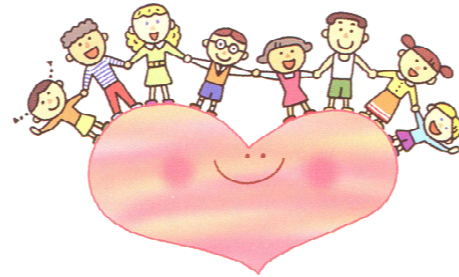
日時 7月23日(土) 13:30~15:30

場所 倉吉市交流プラザ 視聴覚ホール

講師 奥田 均 (近畿大学名誉教授)

演題 全国水平社宣言から100周年
～差別の現実認識を改めて考える～

参加費 **無料**
事前申し込み **有**
窓口 倉吉市人権政策課
☎22-8130まで



100年前、被差別部落の当事者が発信した水平社宣言。部落差別は、される側の責任ではなく、する側に責任があり、同情や哀れみでは差別はなくなる。「人間を尊敬することによって自らを解放することは必然だ」と宣言しました。

しかし、100年たった今でも差別は存在しているのはどうしてでしょうか。

現在では、身元調査やインターネット等の書き込みによって、暴かれることも少なくありません。表面には見えない差別が悪質化しています。

差別の現実を正しく学び、みんなが住みやすい社会にして行くため一緒に参加して学習を深めていきましょう

夏休みを利用して **子ども手話教室** を開催します！

手話教室

しゅわ まな 手話を学ぼう！！

かんたんな手話をつかって、みんなでのしくあそんで交 流 しよう！

手話をつかったゲーム、歌をとおして手話をたくさんおぼえて、つかってみよう！

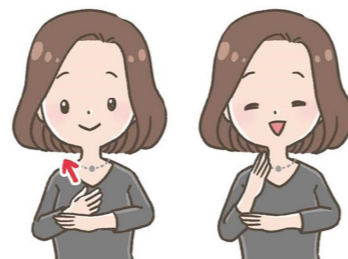
日 時 第1回：7月28日(木) 13:30~14:30

第2回：8月18日(木) 13:30~14:30

場 所 くらよしじんけんぶんか
倉吉市人権文化センター

申し込み：0858-22-4768

「感謝・あかけ」



「ありがとう」

ま ず な

倉吉市人権文化センターだより

2022年7月1日 発行 No.139号

発行所：倉吉市人権文化センター

住 所：倉吉市鍛冶町1丁目2971-2

電 話/FAX：0858-22-4768

メールアドレス：jinkenbunka@ncn-k.net

部落解放月間 令和4年 7/10~8/9



いじめは、大きな社会問題です。子どもの世界ばかりではありません。大人の社会でもある問題です。

そもそもいじめはどうして起きるのでしょうか。

気に入らないから？、うらやましいから？、する側のはけ口として？・・・。

では、いじめはされる側が悪いのでしょうか、

いじめの問題から、わかりやすく一人ひとりに潜在している差別意識に気づくことができます。

部落解放月間中の講演会等に参加しましょう！

鳥取県人権・同和問題講演会

参加費 **無料**

「わたしに出来る、あなたも出来る、そんな反差別」

～まず、差別・いじめの仕組みを理解することから～

日時 7月20日(水) 13:30~15:30

講師 江島 修作 (解放社会学研究所 所長)

場所 とりぎん文化会館小ホール



*申込方法：FAX：0857-26-7074 ・メールアドレス：jinken@pref.tottori.lg.jp

*問い合わせ：鳥取県総務部人権局・同和対策課 ☎0857-26-8136

インターネットに潜む差別

～正しく知って、差別をなくそう！～



◆ 私たちの生活に欠かせないインターネット

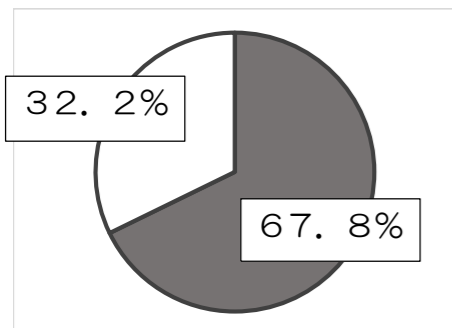
インターネットは今や私たちの生活にとって欠かすことの出来ない道具になっています。総務省による令和3年度版インターネット利用率の調査では、13～59歳までの利用率が9割を超えており、更に、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の利用状況も13～49歳までの利用率は8割を超えています。

近年、日本では急速なデジタル化が進み、学校での教育デジタル化を進める『GIGAスクール構想』（文部科学省）によって、1人1台学習用のタブレット端末を持つことになったことも記憶に新しいかと思えます。

しかし、ネット上には正しい情報だけが載っている訳ではありません。間違っている情報も氾濫しています。



◆ 約7割が差別的なベストアンサー



- …差別・偏見に基づくベストアンサー
- …差別的な意図を含んだ質問に否定的なベストアンサー

この表は『インターネット上の差別問い合わせ質問に対する回答結果の割合』（反差別・人権研究所みえ調べ）です。

知恵袋といったネット上での質問サイトで約7割が差別的な回答であり、差別を助長してしまい兼ねない状況になっています。

ベストアンサーや閲覧数が多い回答ほど、人の目に入りやすくなる仕組みのため、何も知らない状態で差別的な質問や回答を見てしまうと、間違った情報を鵜呑みにしてしまう可能性があります。

◆ 大切なのは正しく知ること

インターネット上に潜む差別や偏見に惑わされずに、便利にインターネットを使用していく上で必要なのは、**情報リテラシー（＝メディアリテラシー）**といった、メディアの情報をそのまま鵜呑みにして受け取るのではなく、自分で考えて確認するスキルです。

そのスキルを身につけるためにはまず、人権学習の基本である**〈正しく知る〉**ということが非常に大切になってきます。

正しく情報を受け取ろう！

「部落には住まない方が良い」などといった**間違った差別的な書き込み**がまだ存在しています。間違っていることは間違っていると、しっかり自分で判断できるように、正しい知識を身につけましょう。

自分の中の固定観念を見直そう！

固定観念は残念ながら誰もが持ってしまう物です。しかし、信じる前に「この情報は正しいのか」と一度立ち止まって考えてみることで、差別的な情報を鵜呑みにしてしまう危険性は大いに減少します。



インターネットは間違った情報を鵜呑みにさえしなければ、情報を沢山与えてくれる便利で役立つ道具です。

情報リテラシーを高めるためには、正しく知り、間違っている可能性がある情報は安易に信じずに、他のサイトを探してみるなどの確認が必要です。

正しく人権問題について理解して、ネット上での差別をなくしていきましょう。

